

C分科会「健康住宅と素材」アンケートのまとめ

アンケートは、フィールドワーク終了後、分科会の事例発表前に行った。
アンケート内容は、同様のものをまとめた。

1. フィールドワークの見学場所について。

よしやまち町家校舎

感想

- ・ もう少し技術的（耐震・構造等）な理論の話をお聞きしたかった。（４）
- ・ 中庭がすてきだった。（３）
- ・ 耐震改修の方法に興味があった。格子の体力壁に感動した。（２）
- ・ 技術の習得、伝統を伝えるために、良い物件を残しておいてあることは大事だと思った。（１０）
- ・ 他の職人さんの話しも聞きたかった。（左官）
- ・ 京都の伝統工法や町家に対する取り組みが聞け、とても勉強になった。（３）
- ・ 棟梁、大工さんの説明が興味深く良かった。（２）
- ・ 壊すところを再利用した、その資産価値や利用価値とコストのバランスを考えさせられた。（２）
- ・ 町家の保存と共に、京都の景観も残すための努力や研究が素晴らしい。残す思いが伝わった。（６）
- ・ 組織としてとても興味を持った。
- ・ 古い建物の保存が大変だと改めて感じた。
- ・ 町家をゆっくり見るのが初めてなので、とてもよかった。（４）
- ・ 左官が素晴らしかった。（２）
- ・ 宮崎で温泉郷のまちづくりに取組もうとしているので、構造や景観学習システムが参考になった。

質問

- ・ 見学希望者は一般人でも受付できますか？ できると思います。相談してください。

横山竹材店

感想

- ・ 竹材加工の行程を初めて見せていただき、大変勉強になった。（５）
- ・ 竹の火あぶりは初めて見学した。表面がホウロウ質になることを知った（２）
- ・ 竹を真っ直ぐにしているところを見て、伝統の技だと思った。（２）
- ・ 折角工場を訪れたので、竹の種類、使い方他知りたかった。
- ・ 本当の竹加工が手間のかかるものであると良くわかった。（３）
- ・ もう少しゆっくり見たかった。
- ・ ２００年前の竹にびっくりしました。在庫が圧巻でした。（５）
- ・ 竹をもっと生かして多くのことに使ってほしい。（３）
- ・ 根津美術館の通路の竹を作っているところとは知らず感激した。
- ・ 竹の油抜きやり方が良かった。

澤井醤油本店

感想

- ・ 熟成に必要な何かが建物にも宿ると思う。１００年以上の蔵にひそむ、酵母の神秘を感じた。（２）

- ・ あの建物の工場の方、耐震工事を2年前にした様だ。耐震の事を聞いて欲しかった。
- ・ 醤油の濃い香りを楽しんだ。(3)
- ・ 伝統を守ると言う事は素晴らしいと思う。5代目、6代目と続いてほしいと思った。(5)
- ・ 工場が町中にあり、小売を兼ねていることに興味を引かれた。
- ・ 長い歴史を積み上げてこられ、現代に生きている建築物、工場。さすが京都。(3)
- ・ 京都の食文化を支える老舗の中を見られて良かった。
- ・ 元々あった縁側を復元したと聞き昔の姿を未来に残す大切さを学んだ。
- ・ 木の樽を使っていることで、木の耐久性など木の素晴らしさを再実感。

山崎商店

感想

- ・ 唐紙のデザインを上手く利用したり、伝統のものをいかに取り入れていくか考えたい。(13)
- ・ 大変参考になり、すばらしかった。(3)
- ・ 体験してみたかった。
- ・ 京からかみの手間のたいへんさ、美しさを再認識した。
- ・ 唐紙の種類をもう少し見たかった。(2)
- ・ 昔からの型の復活をさせたり、すばらしい技術だ。
- ・ 京唐紙の型押しの方法(紙を動かす等)なかなか見られない所が見られて良かった。(4)
- ・ 好きなデザインの唐紙に出会えてよかった。
- ・ 東京で見るより種類が多くてびっくりした。
- ・ ふすま紙もオーダーできると知った。

山田松香木店

感想

- ・ 香木専門店で初めて訪れ、様々なものがあり楽しかった。展示品が素晴らしかった。(2)
- ・ もう少し香りを楽しみたかった。(3)
- ・ 最後にホッと一息ついた気がした。気持ちが安らいだ。香りが良かった。(2)
- ・ 香りを楽しむ、ゆったりとした時間を持ちたいと思った。
- ・ 京都の香り文化を感じることができた。
- ・ 「ひげこ」が扱われているお店だったので、香り期限が半年と聞き、新しい香袋が買えた。
- ・ 香りの選択方法を教えて欲しかった。

2. フィールドワーク全体についての感想をご記入ください。

- ・ 色々な方面の素材を見て京都らしさを感じた。京都を違う角度から見られてよかった。(2)
- ・ もう少しゆっくり、奥深い町家を見てみたかった。(2)
- ・ 普段入れない所、深く知らない素材を見せて頂いてよかった。(8)
- ・ 良く計画が練られ、素晴らしいと思った。京都士会のご努力がわかるコース設定だった。(7)
- ・ 日本古来の材料や日本人本来の生き方に合った材料を、これから生かしていけたらいいと思う。
- ・ 途中コーヒープレイクがあると良かった。
- ・ 長い歴史の中で育まれた伝統の技にじかに触れられ、とても勉強になった。(2)
- ・ 新築物件に和室がなくなり、これらの素材を使うことがなくなっているのは残念だ。

- ・ 実務でも活用できる。
- ・ 最初の町家をもう少し短くして欲しい。
- ・ 京都の古い民家のこじんまりとした住宅。生活していることにおどろいた。

3. 貴士会における健康住宅や素材についての活動や情報があればご記入ください。

- ・ 以前“じわもん”(石川県の方言で地元産の物の意味)をテーマに、地元産の素材を使ってみたり、さわってみたり、工場見学したりした。(石川県)
- ・ なるべく無垢材、塗り壁を提案している。(群馬県)
- ・ 瓦、うるしについて勉強会を開催。(新潟県)
- ・ 新潟県内産の木材を使用した建物が造られるよう県政共々奨励しているようだ。(新潟県)
- ・ 無垢材を使ってと森と一緒に住もうとのテーマで、木材を使うよう計画、提案している。(千葉県)
- ・ 県産杉を使用した建築に取り組んでいる。(新潟県)
- ・ 千葉県の中央部に位置する城下町、大喜多町で町並み整備の仕事をしているが、仕上げ材の使い方や町家のファサードなどとても参考になった。(千葉県)
- ・ 安田瓦。(新潟県)
- ・ 小国和紙。(新潟県)
- ・ 杉材使用。県産材使用にて補助金が出る。(宮城県)
- ・ 福山支部担当者に情報がある。(広島県)
- ・ 木造住宅や木質仕上げには、新潟県産の越後杉ブランドを使用するようにしている。
- ・ 県産材(カラマツ等)利用など。(長野県)
- ・ 多くの伝統工芸があるので、和紙や能登産珪藻土等を住宅に使うように行政も推進。(石川県)

4. 今回の事例発表者への質問があればご記入ください。

- ・ 特に無し

5. 今後分科会で取り上げて欲しいテーマがあればご記入ください。(健康住宅と素材について)

- ・ 素材というより、技術(左官、板金、他)京都ならの職人技を知りたい。
- ・ パンフレットでいただいた北山杉のように、紙、木材の方も見学したい。
- ・ 土壁(塗り壁)、和紙とか、地熱とか省エネ関係。(3)
- ・ メンテナンスの話。
- ・ 老後の住まいについて。
- ・ 京都ならではの素材。(例:金沢ではべんがらの朱壁を仏間に使う。)